

令和6年能登半島地震 被災地へ病院事業職員を派遣します

- 「令和6年能登半島地震」の被災地に、本市病院事業職員を派遣します。
- 厚生労働省DMAT事務局から、1月18日から2月4日までを活動期間とするDMAT(災害派遣医療チーム)※6次隊として、東北ブロックに10ラインの派遣要請がありました。
- 今回、これらの要請に対する応募の結果、本市病院事業への派遣決定があったことから、下記により職員を派遣します。

※ 医師、看護師、その他の医療職及び事務職員で構成され、大規模災害や多数の傷病者が発生した事故などの現場で、機動性を持った活動のできる専門的な訓練を受けた医療チームである。Disaster Medical Assistance Teamの頭文字から「DMAT」(ディーマット)と呼ばれる。

【概要】

1 厚生労働省DMAT事務局の要請による派遣

- (1) 派遣先 珠洲市保健医療福祉調整本部
- (2) 業務内容 医師、看護師等医療職員による被災地における診療活動など、医療機関等に対する支援
- (3) 活動期間 令和6年1月26日(金)～1月29日(月)
※出発：1月25日(木)、帰着：1月30日(火)
- (4) 派遣職員 市立病院DMAT(5名)
医師：診療部長 尾形和則、医長 小枝秀仁
看護師：主查看護師 戸羽宏恵、主查看護師 三浦奈津美
薬剤師：主幹医療技師 山崎晃

2 出発式

- (1) 日時 令和6年1月24日(水) 午後3時30分
- (2) 場所 市立病院 会議室1(1階)